

[参考] 先月からの主要変更点

	11月月例	12月月例
基調判断	<p>景気は、持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備投資は増加している。企業収益は改善が続いている。 ・輸出は<u>持ち直し基調</u>にあり、生産は持ち直している。 ・個人消費は、おおむね横ばいで推移しているが、底固さがみられる。 ・雇用情勢は、依然として厳しいものの、持ち直しの動きがみられる。 <p>先行きについては、アメリカ経済等が回復する中で、景気の上向きの動きが続くものと見込まれる。一方、今後の株価・為替レートなどの動向には留意する必要がある。</p>	<p>景気は、持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備投資は増加している。企業収益は改善が続いている。 ・輸出は<u>緩やかに増加</u>しており、生産は持ち直している。 ・個人消費は、おおむね横ばいで推移しているが、底固さがみられる。 ・雇用情勢は、依然として厳しいものの、持ち直しの動きがみられる。 <p>先行きについては、アメリカ経済等が回復する中で、景気の上向きの動きが続くものと見込まれる。一方、今後の株価・為替レートなどの動向には留意する必要がある。</p>
政策態度	<p>政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2003」の早期具体化により、構造改革の一層の強化を図る。</p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定及びデフレ克服を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行う。</p>	<p>政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2003」の早期具体化により、構造改革の一層の強化を図る。<u>また、12月5日、「改革断行予算」を継続するとの方針を示した「平成 16 年度予算編成の基本方針」を閣議決定した。</u></p> <p><u>政府は、12月1日、金融危機を未然に防ぐため、足利銀行の特別危機管理を開始するとともに、同行が業務を行っている地域の金融及び経済の安定に万全を期すこととした。また、同行に対し、日本銀行は、業務継続に必要な資金を供給する方針を決定した。</u></p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定及びデフレ克服を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行う。</p>

各論

	11月月例	12月月例
輸出入	<p>輸出は、<u>持ち直し基調</u>にある。</p> <p>輸入は、<u>増加が緩やか</u>になっている。</p>	<p>輸出は、<u>緩やかに増加</u>している。</p> <p>輸入は、<u>横ばい</u>となっている。</p>
倒産	<p>倒産件数は、<u>緩やかに減少</u>している。</p>	<p>倒産件数は、<u>減少</u>している。</p>
雇用	<p>完全失業率が高水準で推移するなど、依然として厳しいものの、<u>持ち直しの動き</u>がみられる。</p>	<p>完全失業率が高水準で推移し、<u>雇用者数</u>がこのところ弱含むなど、依然として厳しいものの、<u>持ち直しの動き</u>がみられる。</p>

(注) 下線部は、先月から変更した部分。